

【坂】上がりの街・西部

西部市民センターだより

発行 青森市西部市民センター
〒038-0042 青森市新城字平岡 163-22
TEL 017-788-2491
FAX 017-788-2495

講座レポート

埋蔵文化財調査センターに行って 出土品を見てみよう！

(6/18)

「埋蔵文化財調査センター」という県の施設をご承知でしょうか。(1) 開発事業に伴う遺跡の発掘調査。(2) 出土遺物の整理・復元と発掘調査のまとめ。(3) 資料の保存と活用。を柱としています。この講座では、『新城字天田内』にある埋蔵文化財調査センターをお訪ねして、施設見学と「青森市西部地区の遺跡の傾向と現象」についての講義の2本立てで開催しました。埋蔵文化財調査センター調査第1グループの中村哲也総括主幹に施設案内と講師をお願いしました。

施設見学では、土器の接合、復元をする「整理室」、出土遺物を保管収蔵する「収蔵室」、崩れやすい木製品・金属製品の「保管庫」、出土品を展示する「収蔵展示室」や「展示コーナー」などを見学しました。それぞれの部屋の機能役割の説明と参加者の質問に答えてもらいました。

講義では、青森市のおよそ西部に位置する遺跡である「後潟(1)遺跡、内真部館(4)遺跡、新田(1)(2)遺跡」を主に取り上げ、平安時代から室町時代(古代～中世)にかけての時代の変化による暮らしの移り変わりを出土品や遺構を例にあげて話が進みました。平安時代の住居は「竪穴建物」といって、床を四角に掘り下げて床と壁を作り、かつ「カマド」が室内にありました。中世になると「掘立柱建物」となり、土地に柱を立てた建物となって「カマド」が屋外に作られるようになり、住居の立地場所も台地の上から低地に変わっていきます。生活用品も土器から漆器や鉄鍋へ、そして中国から輸入した陶磁器の他に国産の陶磁器が広まってきました。

古代や中世の西部地区は「外浜(そとがはま)」と呼ばれ、中央から見ると辺境でも、「海を介して北方につながる地理的な条件を備え、多くの情報の結節点」であったわけです。講義室では主に西部地区から出土した当時のすり鉢、ゲタや基石などを間近に見ることもでき、充実した時間を過ごしました。



約3万箱が収蔵されています。

市民センターから

今年は通常開催のセンターまつりと各作品展のお知らせ

今年は通常開催でセンターまつりを行うことに致しました。バザーはなくなりましたが、市民の皆様には楽しんでもらえるよう考えております。

《 令和6年秋の作品展 》

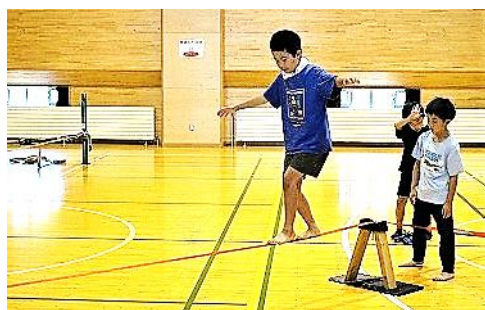
- ・西部フォト愛好会写真展 9/26～29(木～日) 10時～16時
- ・第18回西部市民センターまつり 10/19(土) 1日目 10時～16時 ※開会式は9時30分です
20(日) 2日目 10時～15時
- ・押し花作品展 10月予定
- ・菊花展 11月予定

ニュースポーツ体験！ 初心者向けのスラックライン (8/17)

8月17日に「ニュースポーツ体験！初心者向けのスラックライン」という講座を2回シリーズの初回として開催しました。講師は、日本スラックライン連盟インストラクター 青森支部副会長の大竹貴之さんです。スラックラインとは、わかりやすく言えば、綱渡りを低く短くしたようなもので、細いベルト状の少し緩みのあるラインの上でバランスを楽しむスポーツです。スラックラインは1980年代にアメリカのヨセミテ渓谷で発祥し、それがヨーロッパに伝わって、世界に広がっていきました。

西部市民センターのアリーナのバレーボールとバドミントンの支柱を利用して、幅約5センチのラインを張り、ラチェットという金具を間に入れてラインを張ります。実際に、ラインに乗る前に大竹さんから、目標となる動作の書かれた資料が渡されて、各自が好きな動作に挑戦して、クリアできるようにしてくださいという指示がありました。うまくできるためのポイントは、ラインに上がったなら

(1)両手を広げる、(2)遠くをみる、(3)膝を少し曲げるということでした。しかし、なかなかこれができません。参加者全員で、同じ動作に挑戦するという進め方ではなくて、それぞれの子もたちがやりたい動作に対して、大竹さんがアドバイスをしていきました。子どもたちは「片足だけで5秒以上」「3歩進んで、5秒とまる」「ラインの上で、両足を伸ばして座る」「ラインの上でジャンプする」などの目標に取り組んでいました。講座の最後の方では、「5秒以上、ラインに乗ってられる」子どもが多くなってきました。大竹さんは、色々なイベントにスラックラインを持ち込んでの出張ができるということでした。



バランスをとりながら3歩前へ



お勧め講座・イベントのご案内！ (11・12月)

明治の食育 チーズを知りチーズに親しむ

開催日：11月20日(水)
10:00~12:00

対象：18歳以上

講師：(株)明治北日本支社

会場：2階 学習室3

定員：25人

教材費：無料

準備物：筆記用具、

水分補給用飲料

※おいさと健康を満たす

素晴らしいチーズの魅力をたっぷり紹介します！



手作りお正月飾り

開催日：12月10日(火)
10:00~12:00

対象：18歳以上

講師：フラワコーディネーター 川口 松子

会場：2階 学習室3

定員：10人

教材費：2,000円

準備物：ハサミ、(あればワイヤー
切断用のペンチ)

※自分好みで作る

お正月飾りで新しい年を迎えてみよう！



編集後記

市民センターでの講座やサークル活動が、盛んに開催され、コロナ禍以前と変わらない様子です。市民の皆様の明るく元気に楽しんで、学習活動に取り組む姿が市民センターに戻ってきました。今後も市民の皆様の学習活動を支援し、より有意義な学習情報の発信に努めてまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F

青森市生涯学習推進員室

TEL 017-734-0164 (内線36)

西部市民センター担当：田中、奈良原